

令和6年度修了式挙行 令和7年3月15日(土)

鳥取大学医学部記念講堂において「令和6年度在宅医療推進のための看護師育成プログラム修了証書授与式」を挙行了しました。

Iコース2年次58名、実践コース3名、IIコース15名、IIIコース5名が修了されました。受講生代表で実践コース渡邊さんが謝辞をのべられました。皆様の今後のご活躍を期待します。



Iコース2年次



実践・II・IIIコース



第15回T-HOC特別セミナー報告

3月15日の修了式後、「地域の中で地域の人と共に歩む看護」をテーマに特別セミナーが開催されました。

コミュニティナースとして地域で活躍をされている青山様、中山様を講師に迎えて取り組みをご講演いただきました。参加者からは、コミュニティナースについて初めて知ったという声もありました。訪問看護とは異なる視点や住民との関わり方など、これからの「地域での看護」を考えていくうえでの気づきや学びがあり、看護の可能性や広がりを感じたという感想もありました。「看護」という視点が広がったセミナーでした。

第5回POCUSセミナー報告

令和7年1月25日(土)に鳥取大学医学部記念講堂で携帯型エコー(POCUS)の実践セミナーが行われました。参加者は、看護師、医師、看護学生の幅広い職種と、またお子様連れでの参加もありました。携帯型エコーを使用し病棟で「便秘回診」をされている日野病院看護師の講師2名と、鳥大保健学科杉原先生よりご指導をいただき、全員が腹部の映像を観察しました。携帯エコー機器も小型化と映像の進化で、診療や幅広い検査ができることがわかりました。



令和6年度第2回出向者交流会が開催されました

T-HOCでは病院から訪問看護ステーションへの看護師出向システムを構築し、平成30年より毎年3名が訪問看護ステーションへ出向しています。2月14日鳥取大学医学部記念講堂にて、出向中看護師・出向経験者・訪問看護ステーション管理者・病院看護管理者等の方々約45名が参加され交流会が行われました。出向経験者、出向先訪問看護ステーション管理者、出向元の病院看護部管理者の3者が、連携を強化することで在宅医療の強化となると提言をされました。今回は、アドバイザーとして岩本様(ウィル訪問看護ステーション管理者)より、病院側と在宅側との看護をバトン渡しを例にして患者本人を中心にした看護連携を行うこと。そして管理者はスタッフがその連携を普通にできるようにすることが役割とお話いただきました。たくさんの参加者からは出向システムにおいて出向者・出向先・出向元の3者の学びが直接聞けて良かったことや、今後の課題と期待の意見が聞かれました。



お知らせ

令和7年度受講生
募集締め切り

5月16日

お待ちしております

ご質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡下さい。

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター 在宅医療推進支援室(アレスコ棟2階)

仁科、雑賀、長谷川、南前、角田

☎:0859-38-6994/FAX:0859-38-6996

✉:t-hoc@med.tottori-u.ac.jp